

Ⅲ 重点事業の実施状況

Ⅲ－５６ 遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画の策定について

(都市局公園緑地課)

1 公園基本構想

県民のスポーツ・レクリエーション需要等に対応するため、県民意見募集及び静岡県都市公園懇話会の審議内容を反映した上で、平成28年5月30日に遠州灘海浜公園基本構想を策定した。

基本構想では、篠原地区を「防災・スポーツエリア」と位置づけ、野球場や屋内運動場、グラウンドゴルフ場等を導入が望ましい公園施設とした。また、公園施設には防災機能を兼ね備え、津波から公園利用者等の生命を守る避難場所等の防災機能を導入することが望ましいとした。

2 公園基本計画策定

基本計画の策定に当たり、多くの方々に利用され、愛される公園となるよう、本公園に整備する野球場及びその他の整備が望まれるスポーツ・レクリエーション施設、緑地・広場など緑の空間の在り方について、7月中旬から10月中旬にかけて、様々な方法により幅広く県民の皆様の御意見をお聴きした。

現在、頂いた御意見を踏まえ、野球場の規模やサブグラウンドの設置、その他のスポーツ・レクリエーション施設の種類や配置を変えた複数の公園プランを作成している。

《公園基本計画策定予算の概要》

(単位：千円)

区分	内容	H30	R1	R2	備考
公園基本計画	・公園基本計画策定 ・地質調査	0	8,000	72,000	期間： H30～R2

3 導入施設の検討

今後、概算事業費や経済波及効果、公園利用者数等を算出して県議会にもお示しし、改めて御意見を伺った上で、最終的には基本計画となるプランを1つ選定していく。

今回

【ステップ1】 複数プランの設定	比較検討プラン<原案> ・3つのコンセプトに基づく公園プランを設定 ・今後検討する評価項目を決定
【ステップ2】 複数プランの評価	比較検討プラン<案> 各プランの概算事業費や経済波及効果、公園利用者数等の評価
【ステップ3】 プランの選定	比較検討プラン 各プランの評価を踏まえ、1つの案を選定

4 公園の配置計画に関する比較検討プラン<原案>について

公園の配置計画として、3つのコンセプトに基づくプランを設定した。

【プラン1-1、1-2】ボールパークを核としたスポーツ公園	
コンセプト	野球をする方々の聖地として、 <u>野球の魅力の発信、裾野拡大、技術の向上を図るとともに、幅広い県民のスポーツ活動の拠点となる公園</u>
特徴	幅広い野球利用者のニーズに対応できる充実した野球施設（メイン球場1面、サブ球場3面、ソフトボール場1面）を配置

【プラン2-1、2-2】木々と水辺に囲まれた自然・スポーツ公園	
コンセプト	遠州灘海岸に隣接する地域特性を活かし、 <u>豊かな水辺環境の中で野球を中心としたスポーツやレクリエーションが楽しめる公園</u>
特徴	大人から子どもまで水に親しむことができる「水遊び場」や、気軽にカヌー等の水上スポーツを体験できる「池」及びビーチスポーツが行える砂地の「スポーツ広場」を配置

【プラン3-1、3-2】みんなが楽しめる健康・スポーツ公園	
コンセプト	豊かな緑地空間の中、野球を中心としたスポーツやレクリエーションを通じて、 <u>幅広い年齢層の県民が健康づくりに取り組むことができる公園</u>
特徴	子育て世代や子どもだけの利用を想定した「子ども広場」や、あらゆる年代の方が気軽に健康づくりに取り組むことができる「健康増進拠点」を配置

さらに、公園の中心施設となる野球場については、規模・構造の異なる4つのタイプを原案として設定した。

規模	区分	構造（外野スタンド）
2.2万人（草薙球場相当）	タイプA	・コンクリート構造 ・座席あり
	タイプB	・盛土構造（樹林帯） ・座席なし（芝生）
1.3万人（愛鷹球場相当）	タイプC	・コンクリート構造 ・座席あり
	タイプD	・盛土構造（樹林帯） ・座席なし（芝生）

5 評価項目について

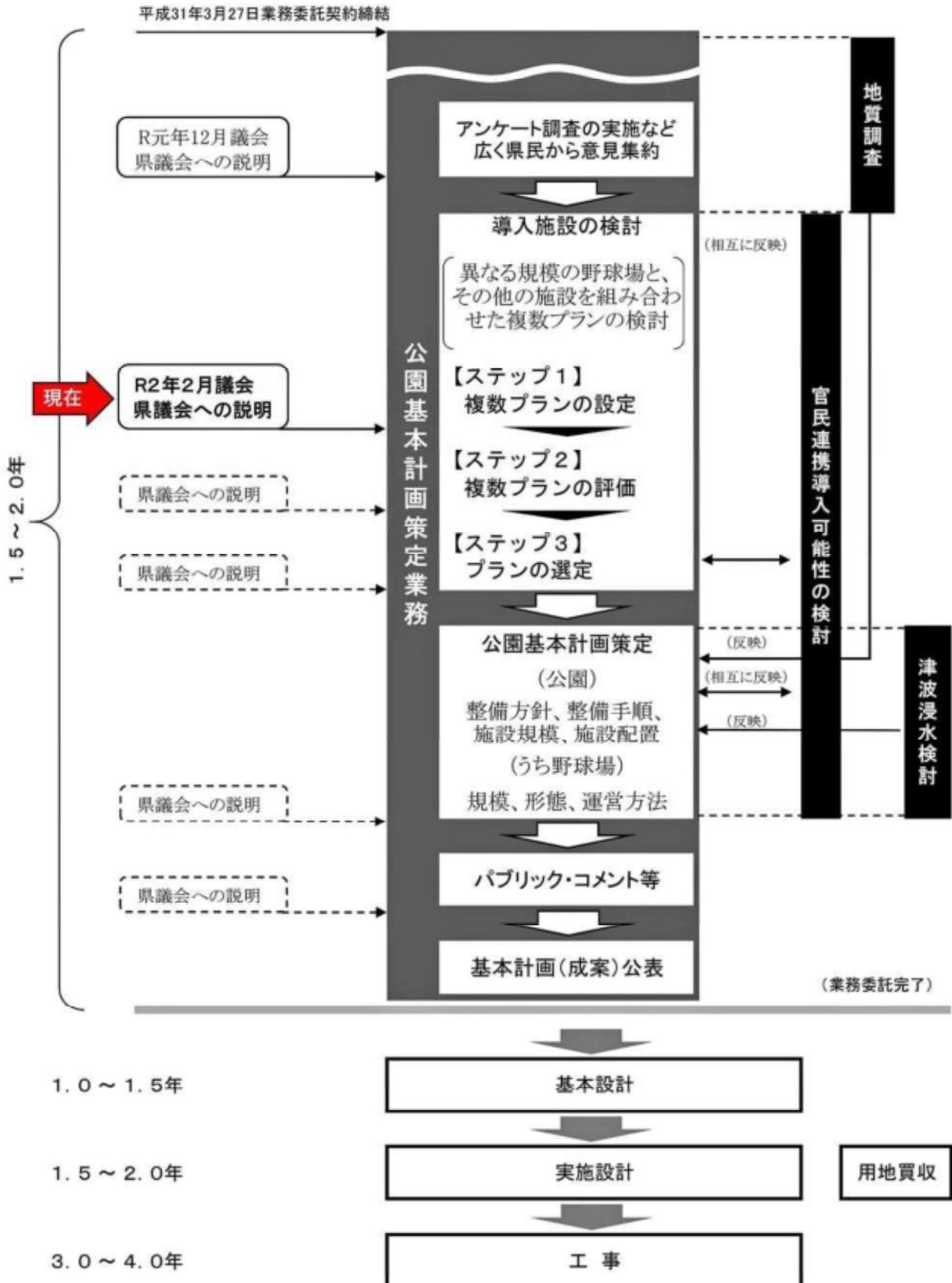
今後、「比較検討プラン<案>」を作成する際に使用する評価項目は、以下のとおりとする。

区分	評価項目	内容
事業費関係	概算事業費	他事例を参考に概算事業費を算出する。
	維持管理費	他事例を参考に維持管理費を算出する。
	官民連携導入	PFI方式導入による官民連携の可能性を整理する。
整備効果	経済波及効果	公園利用者が県西部地域の経済活動に与えた効果を数値化し、定量的に評価する。
	公園利用者数	公園利用者数を推計する。

6 公園基本計画策定の進め方

県民の皆様をはじめ、野球・ソフトボール等のスポーツ関係者から広く聴き取った意見を参考に、下記の各段階において県議会等に説明を行いながら、公園施設の規模・配置等の検討を進めていく。

○基本計画策定の進め方



【プラン1】ボールパークを核としたスポーツ公園

■ プラン1-1 (メイン球場のスタンド規模: 2.2万人) ■



■ プラン1-2 (メイン球場のスタンド規模: 1.3万人) ■



打撃専用練習施設

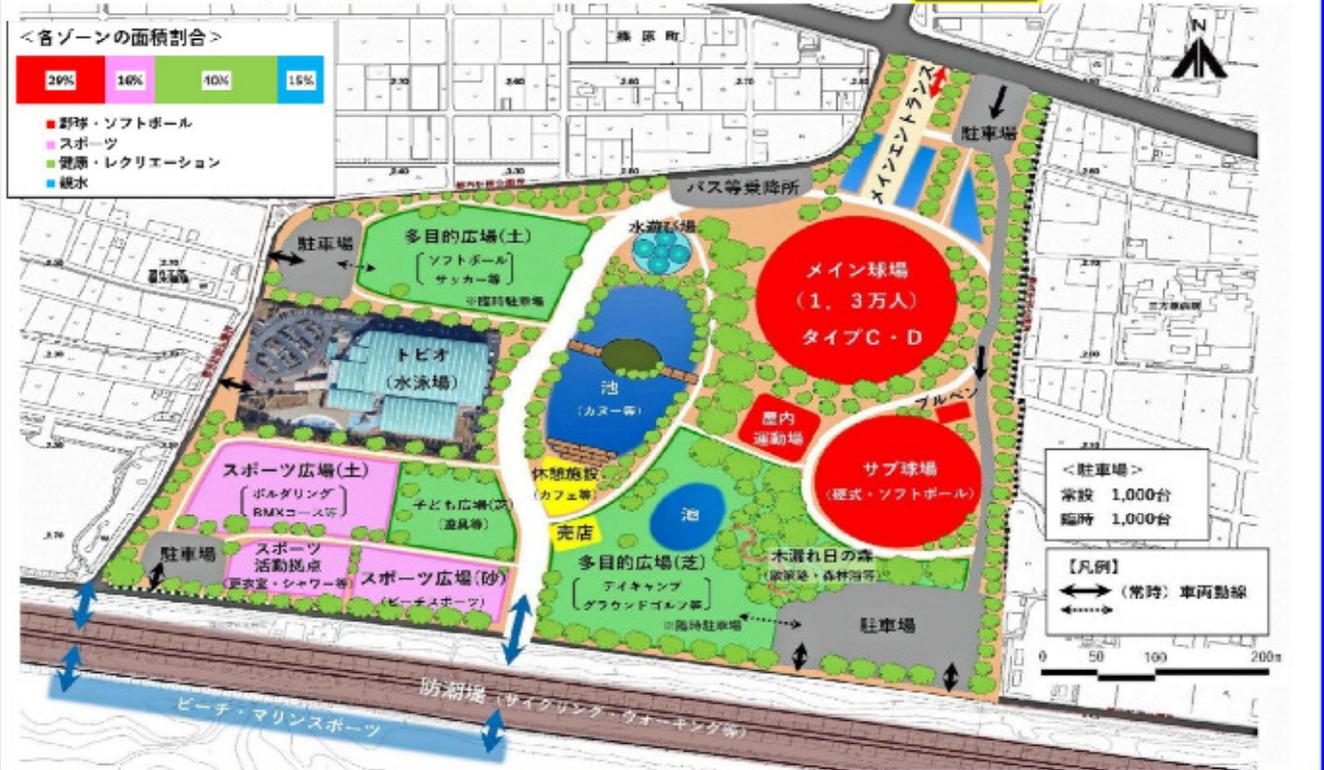


【プラン2】木々と水辺に囲まれた自然・スポーツ公園

■ プラン2-1 (メイン球場のスタンド規模: 2.2万人) ■



■ プラン2-2 (メイン球場のスタンド規模: 1.3万人) ■



【プラン3】みんなが楽しめる健康・スポーツ公園

■ プラン3-1 (メイン球場のスタンド規模: 2.2万人) ■



■ プラン3-2 (メイン球場のスタンド規模: 1.3万人) ■



公園の配置計画に関する比較検討検討プラン<原案>
(メイン球場の規模・構造に関する比較検討)



公園の中心施設となる野球場（メイン球場）については、規模・構造の異なる 4つのタイプを原案として、以下のとおり設定しました。

規模	区分	構造	イメージ
2.2 万人 (草薙球場相当)	タイプA	内外野ともコンクリート構造で座席のあるスタンド球場	<p>防風効果【大】</p>
	タイプB	<p>内野はコンクリート構造で座席のあるスタンド、外野は盛土構造で芝生席のスタンドの球場</p> <p>球場外側（外野側）には、樹林帯を設置</p>	<p>防風効果【小】</p>
1.3 万人 (愛鷹球場相当)	タイプC	内外野ともコンクリート構造で座席のあるスタンド球場	<p>防風効果【大】</p>
	タイプD	<p>内野はコンクリート構造で座席のあるスタンド、外野は盛土構造で芝生席のスタンドの球場</p> <p>球場外側（外野側）には、樹林帯を設置</p>	<p>防風効果【小】</p>